

## 令和3年度 交通信号工事士 実務試験解答例

### 問1 (各25点×2=50点)

- ① 6何の原則で記述されていること。  
いつ、どこで、だれが、何を、どのように、なぜしたか。

#### 【解答例】

私は、柱更新工事に従事しておりました。私の役割は信号柱を建柱するための穴を掘削することでした。

新しい柱は、既設の柱の直近に建柱することから地下埋設物はないと妄信してしまい、オーガで掘削したところ、NTT管を破損してしまいました。

- ② 具体的に6何の原則で解答されていること。

#### 【解答例】

交通信号機用柱を建柱するための穴を掘削する場合は、手掘りで掘削しなければならないが、誤った手法を使用してしまったこと。

他には、工事前に関係機関との立会が実施されているかの確認、されていないのであれば、必ず試掘等を実施して、埋設物がないことを確認する。

### 問2 (各5点×10=50点)

「又は」がある場合は、どちらかが解答あれば5点

- ① AC1 : 商用電源の出力
- ② AC2 : 商用電源の出力
- ③ A : AB連動出力
- ④ B : AB連動出力
- ⑤ S0 : Y連動入力のコモン
- ⑥ S1 : Y連動入力1 又は AB連動入力(A)
- ⑦ S2 : Y連動入力2 又は AB連動入力(B)
- ⑧ 1PG : 1現示目の歩行者用灯器の青出力
- ⑨ 2PR : 2現示目の歩行者用灯器の赤出力
- ⑩ PL0 : 確認表示灯、取扱い表示灯のコモン

#### ※採点要領

- ア 3名の採点者が各々採点する。
- イ 問1、問2ごとに、3名の採点結果の最小値と最大値の差が配点の3割を超えた場合は、3割以内になるまで協議を行う。
- ウ 問1、問2ともに、3名の採点結果の平均点を得点とする。